



今こそ、里親が必要とされています。 もっと知ってほしい「里親制度」のこと！



オンライン
フォーラム
開催報告

新しい家庭のカタチ
「里親家庭」には、子どもとの
「幸せな時間」がたくさんある。

「里親制度について知ろう！オンラインフォーラム」が11月7日に行われました。さまざまな事情で親と一緒に暮らすことのできない子どもを数ヶ月から数年の間、家庭に迎え入れて養育する里親制度について、実際に子どもを養育している里親さんと里親を支援する立場の関係者が、制度や里親家庭などについて語り合いました。

子どもを4年間養育している里親の女性は「親と一緒に暮らせない子どもがいると聞き、何か役に立ちたいと思って家族と相談した上で里親になった。私たち夫婦の実家や近所にも子どもを迎えたことを知らせ、みんなでかわいがってもらっている。幸せな時間が訪れているように感じる。」と感想を語っていました。困ったことや戸惑うことがあった場合は、里親同士で情報交換したり、「里親サロン」でアドバイスをもらうなどして解決しているとのこと。

県内には、こうした子どもたちが約250人ほどおり、その中で里親家庭に迎え入れられて生活している子どもは約50人。国は里親による養育の割合を引き上げる方針を示していますが、県内で里親として登録しているのは140世帯ほど。子どもと里親さんとの間のマッチングを考えると、まだまだ足りないのが実情です。制度に興味のある人のための里親説明会も開催されており、その告知も行われました。



山形県しあわせ子育て応援部 子ども家庭福祉課
〒990-8570 山形市松波二丁目 8-1
TEL:023-630-2260 FAX:023-632-8238

はれときどき里親さんになろう

検索



ご視聴はこちらから

